

リコージャパン株式会社の社会貢献活動の取り組み

リコージャパン(株)では、さまざまな業種におけるお客様の経営課題・業務課題に対し、ICT を駆使した各種ソリューションをご提案・ご提供しつつ、解決に繋げるお手伝いをされています。県内には岐阜事業所、東濃事業所(可児市)、高山事業所を構え、138 人の社員で県内全域のお客様をサポートされています。活動概要としては、定期的な地域清掃活動・森林保全活動の実施、SDGs イベントへの出展、また最近では、地域企業様と連携した地域貢献活動に挑戦されています。

★社会貢献活動へのきっかけや思い★

リコーグループは「三愛精神」のもと、世の中(地域)から感謝される企業を目指し、地域に貢献する・組織全体またはチームで一体感をもち、全員が社会課題解決(SDGs)に取り組むという方針で活動されておられます。継続的な地域貢献活動や積極的なイベント参加から、地域の皆様との繋がりの強化と人にも環境にも優しい地域づくりを心掛けてみえます。

※三愛精神とは、「人を愛し 国を愛し 勤めを愛す」ことを掲げるリコーグループの創業精神です

🌳内容や頻度🌳

- ・ぎふ・ロード・プレーヤー 地域清掃活動 1回/月
- ・リコーえなの森 森林保全活動 4回/年
- ・ライブオフィス「ViCreA」を通じた事例紹介 来場社数 137 社(22 年度上期~23 年度下期) ※右上写真
- ・地域の小学校への SDGs 出前授業 2022 年度に初実施 継続予定
- ・地域開催の SDGs イベント・フェアへの出展 11 件 2023 年度実績
- ・県内企業と連携したペットボトルキャップ回収 寄付活動 2023 年度に初実施 継続予定 ※右下写真
- ・県内企業と連携したフードドライブ活動 2023 年度に初実施 継続予定



🌸 活動の効果(地域、地域住民等) 🌸

活動を重ねていくにつれ、県内企業や自治体から SDGs や社会貢献に関するお悩みのご相談があったり、イベントのお声掛けをいただくことが増えたとのこと。イベントでは、自社製品の紙アプリや布地に印刷できるガジェットプリンター等を活用し、お子様から大人まで、楽しみながら SDGs や社会課題に触れる機会を提供されておられます。

また、定期的に参加している「リコーえなの森」は、環境省の 23 年度自然共生サイト認定事業(前期)において、自然共生サイトに選ばれ、県からは「ぎふ、SDGs 推進パートナー制度」にゴールドパートナーとして登録されるなど活動が認められています。

🌿 社会貢献活動を実施して会社(社員)にどのような良い変化があったか 🌿

会社としては、社会貢献活動を通じて身の回りの環境がよりよくなるだけでなく、県内の企業様や自治体様と新たなつながりができたことが成果として感じておられました。

社員の方が、社会課題を自分ゴトとして考えたり、社内のみならずプライベートでも行動に移す方が増えたとのこと。実際に「道路上での廃棄の多さにいつも、びっくりしている。個々がもっと真剣に SDGs を考える必要を強く感じた。」「地域貢献をすることで働きやすい環境を作ることにつながると感じた。」「自分一人の行動で周りに良い影響を与えることができると思い、積極的に活動しました。」という声が社内から寄せられたとのこと。

🌸 今後検討(チャレンジしたい)していること 続けたいこと 🌸



ご担当者さま

県内企業・団体・自治体と連携した社会貢献活動・SDGs 活動を今後も実施していきたいと考えています。

